

山根は山紫水明にして自然に恵まれた地域です。藩制時代山根六郷（深田・木壳内・細野・端神・上戸鎖・下戸鎖の六村の総称）と呼ばれ、久慈・野田海岸の塩や海産物・鉄等を内陸へと運ぶ交通の要衝として栄えてきました。

戦後のエネルギー革命に伴い人口の流出が続き、今日六百人余りの人々が先人の残した自然や暮らしの技を大切に伝承する

## ふるりの源流

「ちやっこいふる里」です。山根端神郷は標高三五〇メートルの典型的な山間高冷の雑穀地帯です。私たちの先人はこの地を拓き、営々と生活の知恵やふる里人の心を育くんで来ました。今日三十三戸が心を寄せあい暮らしています。

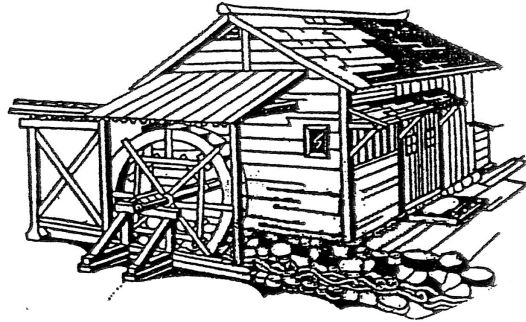
桂の水車を核として人を慈しみ、清貧でおおらかなふるりの心を伝承し源流の山・川の保全、文化景観の創造に努めております。

水車は、「桂の大樹」のある広場に昭和55年迄形態のみが残されていたものを、調査資料をもとに忠実に復元新築されました。

材料は地場産材を使用し、水車のカラクリは古老の指導をいただき、地元の大工さんの手により製作、くるま大工の技が伝承されました。

## 水車まつり・くるま市

昭和63年桂の水車が復元され、端神のシンボルができました。平成元年水車のある暮らしの中から味の伝承グループ桂水会が誕生し部落の総意でできた「桂の水車」は伝承活動の場となりました。源流の技や食文化を通して町の人々との交流をはかりながら確かな伝承を願い、「水車まつり」や「くるま市」が開催されるようになりました。



## 桂の水車ふる里まつり 平成28年市曆 ちやっこいふる里伝承

4月3日	4月くるま市	農神様のお迎え
5月1日	第54回水車祭り	水神様祭礼
6月5日	6月くるま市	山菜市
7月3日	7月くるま市	明神参り
8月-日	8月くるま市	お休みします
9月4日	9月くるま市	そばの花市
10月2日	10月くるま市	出来秋の味賞
11月6日	第55回水車祭り	収穫感謝祭
12月4日	12月くるま市	神々の年とり

## 別嬪村の由来

平成3年7月30日、森繁久彌氏がヨットで日本一周の旅の途中久慈市に立ち寄られ、久慈市長の案内で「桂の水車」を訪れ、婦人方のふる里料理にいたく感激され、『別嬪村』と命名し、由来記の看板を揮毫しました。森繁久彌氏は秋の叙勲で、文化勲章を受賞。この名誉ある揮毫を末永く守り、さらなる山根六郷の発展と源流の保全伝承を祈念し、別嬪村村民憲章を制定して、平成9年5月、別嬪村の旗揚げをする。

企画協力  
山根六郷研究会 ☎53-5281  
久慈ステーションホテル内

主催 久慈市山根町・端神郷「桂の水車ふる里まつり」実行委員会

ふる里伝承館石神座

### ◎別嬪村村民憲章

わたくしたち「別嬪村」村民は

- 郷土を愛し、清らかな源流を守ります
- 昔郷を誇り、伝来の技と心を伝承します
- 夢をかたり、村の自立と交流に努めます
- 皆助け合い、めんこい村をつくります

平成9年5月3日制定